

2016 春季生活闘争

3.5 佐賀県中央総決起集会 アピール

われわれは本集会において、中小企業で働く仲間や非正規雇用の仲間をはじめ、すべての働く者の処遇を「底上げ」する決意を改めて確認した。あわせて、賃金・労働諸条件の改善はもとより、社会全体の課題についてわれわれ自身の役割を認識・共有して取り組んでいく決意も確認した。

現在、それぞれの労働組合が、月例賃金、とりわけ賃上げ額のみならず賃金水準にこだわって、精力的に交渉を進めている。「デフレからの脱却」と「日本経済の好循環実現」のために、賃上げを継続しなければならない。特に、中小企業で働く仲間の処遇改善がなければ、日本経済の成長はおぼつかない。そのためにも、公正取引の実現と、サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正な分配を求める取り組みを進める。加えて、非正規労働者の雇用の安定と処遇の改善が、企業の存続と競争力強化には欠かせない。

われわれは要求趣旨に沿った回答を引き出すことに全力を挙げ、その成果を社会的に波及させていく。

さらに、働く者の「総合生活改善」のためには、政策による雇用の安定と質の向上や、社会的セーフティネットの強化による現在と将来への不安解消など、国民生活全体の底上げを行うことが不可欠である。春季生活闘争の「運動の両輪」である「政策制度実現の取り組み」を強力に進めるため、働く者・生活者の視点に立った政策・制度要求の実現に向けて取り組んでいく。

2016 春季生活闘争は最初のヤマ場を迎える。われわれはすべての働く者の総意としてたたかい、すべての働く者の賃金の「底上げ・底支え」「格差是正」を実現し、20年間続くデフレからの脱却と日本経済の好循環実現をはかるため、総力を結集して、最後までたたかい抜くことをここに決意する。

2016年3月5日

連合佐賀「2016 春季生活闘争 3.5 佐賀県中央総決起集会」